

省エネルギー運転（エコドライブ）研修の実施

平成17年2月16日に発効した京都議定書に基づく我が国のCO₂排出削減目標達成に向けては、運輸部門全体からの排出量抑制について更なる努力を要する状況にあり、その一つの施策として、政府は、省エネ法（「エネルギー使用の合理化に関する法律」）を改正し、平成18年4月から実施され、運輸分野等の省エネ対策の一層の強化が図られました。更に、昨年末のバリ協定を受け、より一層の省エネに対する取り組みの推進が予想されております。

このため、公営バス事業においても率先して省エネルギー対策に取り組むとともに、現下の経営状況に鑑み、職員に対してもコスト意識を持たせ、その効率化に対する意識改革を図ることを目的に標記研修を平成18年度から実施し、11回目となる研修を本年も実施しました。

【研修概要】

1. 日 時 平成28年6月9日(木)～10日(金)
2. 場 所 クレフィール湖東交通安全研修所
3. 研修日程 (別紙 省エネ運転研修時間割 参照)
4. 参加都市 東京都、川崎市、横浜市、名古屋市、高槻市、伊丹市、神戸市、
松江市、北九州市、佐世保市、鹿児島市 11都市
5. 参加者数 32名
6. 参加者の感想

この研修のアンケートでは、いくらか参考になったという人を含め、全員が参考になったと回答。また、この研修の成果を何らかの形で職場において実践したいと全員が回答されました。

なお、主な感想としては以下のとおりでした。

- (1) アクセルの踏み方やギアチェンジのタイミングで大きな違いが出ることがよくわかった。早速実践するとともに同時に新人への育成に努めます。
- (2) 通常走行とエコ走行の燃費の差に驚きました。これだけの結果が出ることで、経費の節約はもちろんの事、事故の減少にも大きく影響することがよくわかりました。
- (3) 空走距離について、いろいろな研修で聞いたことがあり、頭では分かっていたが、実際に体験し衝撃を受けました。
- (4) ドラレコの映像で他の事故例を見ることにより自分が体験したように感じるということが分かった。
- (5) 実際のドラレコの映像を生かした、とても現実的な講演で、身近に起こりうる危険について、すごく心に残るものでした。仕事はもちろん、プライベートで車を運転する際も十分に気をつけたいと思います。

【講演】

「事業用自動車の運行の安全を確保するために」

(講師 しずてつジャストライン(株) 運行支援課 八木 敏晴 氏)



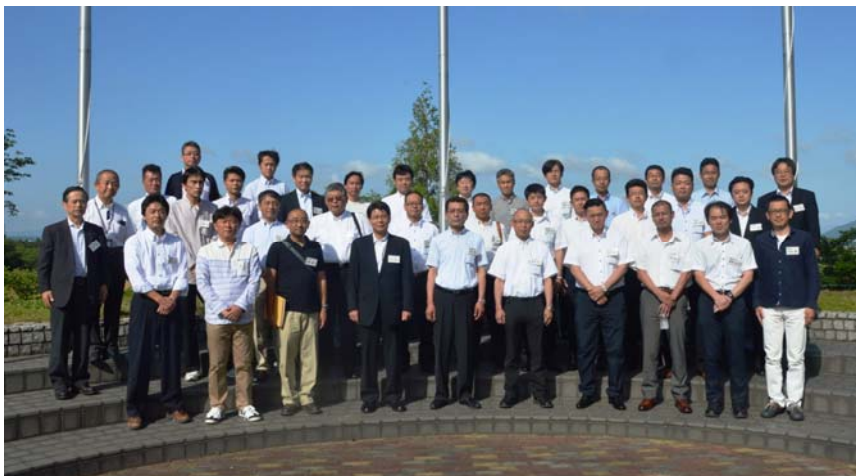
【講演】

「ドライブレコーダーを活用した危険予知トレーニング(KYT)と
運転において【みる】とは？」

(講師 独立行政法人 自動車事故対策機構 滋賀支所チーフ 豊田 奨氏)



【省エネルギー運転研修の参加者】



- (6) 研修でK Y TのDVDを使用しているが、どのように活用すればいいかわからなかったが、かなり参考になった。
- (7) 自分では見ていると思っていたことが、しっかり認知できていなかった。わかっているものを探すのと、分かっていないものを探すのでは時間の差があることが分かった。
- (8) 疲れと朝食後という事で眠くなるかと思いきや、経験からくる重い思いの入った言葉などでぐいぐい引き込まれた。ドラレコの映像も分かりやすいいうえに目を見張るものばかりでびっくりでした。とても良い講演でした。

【省エネ運転の実技】



省エネ運転の実技の様子



バスの運転席から見た死角についての説明を受けている様子